

令和6年麒麟のまち創生戦略会議 サミット議事概要

日時：令和6年11月11日（月）午後3時30分～4時30分

場所：浜坂多目的集会施設 2階 多目的ホール

出席者：鳥取市：深澤義彦市長、羽場恭一副市長、吉野恭介市議会副議長、岩美町長、岩美町議会議長、若桜町長、若桜町議会議長、智頭町副町長、智頭町議会議長、八頭町長、八頭町議会副議長、香美町長、香美町議会議長、新温泉町長、新温泉町議会議長

1 開会あいさつ（新温泉町長）

2 意見交換 テーマ「「麒麟のまち圏域における未利用公共施設の活用方法と課題について」

資料説明：上田鳥取市政策企画課長、西川鳥取市資産活用推進課課長補佐

《岩美町：長戸町長》

それぞれの自治会エリアに旧学校の体育館や校舎が残っており、自治会へは壊させてくれ、次はもう建てられないとずっと三年間言ってきたが、どこからも活用の手が挙がらなかった。本日の資料に載っている旧本庄小学校は、廃校後、体育館を町が管理していたが、全庁的にも古い公共施設を全部始末していきたいということで、校舎の解体発注をした。また、資料に記載しているように、遊びの広場について、今後、屋内設備も併設し子育て支援の拠点となるよう整備を進めたいと考えている。なお、今、国が補正予算を組んでいるので、ぜひその中のメニューとして組み込んでいただく中で、補正対応で今後2か年計画といったことを考えている。

圏域の中で、未利用の公共施設はたくさんあり、どこも解体・集約に頭を悩ませていることと思う。連携自治体が全体で取り組んでいくというのはなかなかしづらいのかなと思う。出来るなら、近隣市町で新たな公共施設の整備・計画等があれば、機能集約や合同で運営できるようにあればいいと思う。どこも古い公共施設の始末で手一杯であり、新しい取組みに着手するのは財源も含め難しい状況であると思う。このような場で定期的に取り組んでいくものができるならば、それはそれでいいと思う。

《岩美町：橋本議町議会議長》

岩美町の未利用公共施設は、長戸町長も申し上げたとおり、学校施設もちろんであるが、他の公共施設も含め大変古いものが多く、なかなか利活用が難しい。未利用でも維持管理のコストがかかるため、いかに計画的に整備を行うかが必要だと思うが財源が伴わない。これは岩美町だけでなく全国的な課題であろうかと思う。再整備について、単町で全ての施設を持つ時代ではなくなっていると思う。圏域や広域で施設の共有といったことを考えていく

必要があると思う。

《若桜町：上川町長》

町内に学校施設、空き教室など遊休施設があり、何とか地元でうまく利用いただくのが理想だが、過疎化、高齢化もあり、活用のアイデアが出てこないといった状況である。つく米分校と旧池田小学校があり、つく米分校については議長の方から説明されると思うが、旧池田小学校については資料に掲載のとおり体育館については活用しているが、校舎の方は規模が大きく、企業誘致で入っていただいていた企業が、契約が満了し一昨年に出ていかれたので、今後どう活用していくかが課題である。今、指定避難所として、防災関連の備品などを整備しているところであるが、併せて、将来展望としては、鳥大の医学部学生の地域医療実践の場として、サテライトキャンパスのような場所にできればと思っている。

他にも町内を見渡すと遊休施設が多くあり、今後の活用を検討するなかで、ひとつは公共空き家不動産というマッチングサイトがあるので、そういったサイトを活用していきたいというのと、併せて、来年度サウンディング調査をやってみたいと思っている。町内の遊休施設について施設情報などを公表して関心を持っていただいた民間事業者にサウンディング調査をしていただくことで、市場可能性があるのかどうかなど、活用アイデアを出していただき、事業化検討の材料にするといったことを検討している。

《若桜町：山根町議会議長》

私の方からは、旧若桜小学校のつく米分校について紹介する。つく米地区に平成8年に開校し、平成22年に休校となった。活用方法について地域の方ともいろいろ話をしながら進めてきたが、なかなかいい案が出ず、また、先ほども問題点として挙がっていたように施設の規模が大きく、地区で活用できるのかということもあった。そんな中、2年前に民間事業者からシェアハウス・宿泊施設にしたいという話があり、地域の方に説明をするなどして進めていたが、昨今の世界情勢等の事情もあり、今年の春に白紙となった。学校は、地域のシンボルとしてその地域の人たちにとって思い入れのある場所であり、なかなか町単独で利活用を進めるというのは難しく、地域の方の意見を聞きながら、地域とともに活用方法について検討を進めていけたらと思う。

《智頭町：金児町長》

10年ほど前に、6つの小学校を統合し5つの学校が廃校となった。1校は相当古かったため解体をし、残りの学校については手を入れながら地域の経営に委ねている。町の方から指示を出すのではなく、地域の方でこのようなことに使いたいと意見を出してもらい、それに対する費用を町が負担するというやり方を取っている。ただ、体育館については残して、社会体育施設として町が管理している。

旧地区公民館が小学校の中に入ってしまった、地区公民館施設が残った場所がある。そういった場所については、地区の消防団の車両倉庫として、緊防債（緊急防災・減災事業債）を

使って解体並びに建築した。

保育園は2つあったのを1つにし、そのうち1つは放課後児童クラブや子ども食堂として活用しているが、残った方は防火水槽や防災公園として緊防債を使って解体し、年明け頃に完成する予定である。

《智頭町：谷口町議会議長》

旧那岐小学校を活用したナギノ森ノ宿は、例えば、東京の若手経営者を集めたセミナーにおいて合宿という形での利用、また、体育館もあるため夏休みなど学生スポーツ合宿としての利用があるものの、まだ完全に軌道に乗っているとは言えない。若手の経営者が中心となって頑張ってくれているが、まだまだそこに我々自身も関わっていくべきであると思っている。

未利用公共施設は、何もしなくても経費だけはかかるというのが共通の問題で、いかにそれを減らしていくか、各市町の知恵やモデルケースを勉強させていただければと思っている。

《八頭町：岩見副町長》

八頭町は3町が合併し、平成23年に、保育所・小中学校の適正配置計画というものをつくった。それに基づき保育所を13園から5園に、小学校は8校を3校、中学校は3校を1校に統合し空き校舎が出てきた。その中でモデル的にはじめたのが、資料にも掲載している旧隼小学校の隼lab。企業誘致ではなく町が政策的に始めた施設で、運営も、地元の金融機関等に入っただき、民間企業に集まっただいて一つの運営事業体として民間のノウハウでやっただきしている。ただ、学校には教育施設だけではなく地域のコミュニティ拠点としての機能もあることから、絶えず50人以上の訪れる施設にして欲しいとの思いでスタートし、今は週末など本当にたくさんの方に来ていただいている。

廃校となった小学校は、民間宿泊施設や芸術文化拠点として使っただける施設としている。中学校は、1つは民間の酒造会社が入って使っただきしている。また、小学校に変えて、エレベーターを付けたところもある。残った小学校校舎のうち実質未利用となっていた2校は、合併特例債が使える今年中に解体をする。小学校跡地については、地域コミュニティ拠点として検討委員会を立ち上げるなど活用について検討を進めていく。

旧小学校区において、福祉拠点として活用し、まちづくり委員会が地域の実情に合わせた健康づくり推進等を行っている。ここまで既設の活用施設の話をしてきたが、今後、老朽化する施設をどうするかといったことについては、議長の方で紹介していただく。

《八頭町：尾島町議会議長》

令和4年6月議会で公共施設調査特別委員会を立ち上げ、令和4年に7回、令和5年に8回、令和6年10月現在で6回、合計21回開催し、今後の公共施設のあり方についていろいろと検討を重ねている。八頭町には公共施設が約270施設あり、10年間で維持管理に

約300億円かかるとの試算が出ている。大規模施設については、地元で協議会を立ち上げるなど地元の意見を加味しながら予算化していく仕組みをつくっている。また、先ほど申し上げた委員会について、この12月定例議会をもって閉めようと思っており、最終的に31施設をピックアップして行政サイドに現在の取り組み状況や課題などのリサーチをかけて、報告が出てきている。報告について、議会の中の2つの委員会で、報告内容が適切かなど確認しているところである。最終的に、議会の意見として執行部に投げかけ、12月定例議会で最終結論を執行部に向けようと思っている。4年間の議会活動を経て、令和7年4月の町議会改選に向けて答えを出していきたいとの思いで取り組んでいる。

《香美町：浜上町長》

人口の急激な減少に伴い、第2次学校再編に取り組んでいる。先ほど紹介頂いた旧兎塚中学校は、旧村岡町の3つの中学校を統合した際の空き校舎を民間に売却した事例である。残りの1つの方は、町に特別支援学校がなかったため、兵庫県にお願いをして豊岡にある出石の特別支援学校の分校として今も運営いただいている。香住区には6つの小学校があるが、今年度第1弾として佐津小学校、奥佐津小学校を香住小学校に統合した。続いて令和8年度に残る3つの小学校を香住小学校に統合する予定で、令和7年度に検討委員会を立ち上げる予定で進めている。費用もかかることであり、公共空き家バンクに登録したり、サウンディング調査をしたりするが企業誘致はなかなかままならない。3年前に八頭町の隼 lab. や大江の郷が運営されているホテルを見学させていただき、八頭町は相当進んでいると感慨深く思ったが、我々の地域では有力企業もなくなかなか難しい。令和10年度には村岡地区の3つの小学校を統合予定である。全体として3段階での統合計画であるので、職員とともに知恵を絞っていかねばならない。解体するにも多額の費用がかかるため、これからしっかり検討し対応していかなければ、財政的にも困難な状況が続くと思っている。

《香美町：岸本町議会義長》

先ほど町長からも紹介があったように、特に廃校をどう活用するかが問題だと思うが、旧兎塚中学校は約2,000万円で地元企業に購入いただいた。確か年間400万円ほどの固定資産税が入ってくるということで大成功事例だと思うが、これから廃校が進むとどうするのか、議員の皆さんも苦慮しているところである。

先日福知山へ視察に行った際、福知山ではサイトでの周知等を活用し、廃校を見学する企業向けバスツアーを開催して2社の企業誘致に成功しているようである。福知山は交通の便も良く企業誘致もしやすいと思うが、香美町の場合はどうかと心配をしているところ。ひとつの可能性として、廃校等の計画が出た時点で、早く教育委員会ではなく別の組織へ管轄を変更し、地域とも連携して活用策を検討していくべきではと思う。福知山の企業誘致バスツアーのような取組を、麒麟のまち関係でももしできたら面白いのではと思っている。

《新温泉町：西村町長》

合併前10校あった小学校は統廃合して6校になった。廃校になった4校のうち1校は資料に掲載のとおり防災活動拠点施設となった。また、他の廃校は地域の公民館的な施設としたり、体育館を地域イベント等に活用したり、校舎の方は地域おこし協力隊員がジビエをやりたいということで現在進めている。もう1校はそのままである。高校は2校あったが、温泉地区の温泉高校は廃校になり、活用について鳥取県側の事業者等からいくつか視察があったが、希望に合わずマッチングしなかった。今は手入れも行き届かない状況であるので、色々な取組を考えてはいるが、温泉高校は兵庫県から2,400万円で購入し無償で県へ譲渡したが、元に戻して買うときは町に費用負担をするようにとの非常に厳しい県の対応もあり、その後の利活用は滞っている状況である。

《新温泉町：池田町議会議長》

町長が申し上げたとおり、課題が多くある。各町の状況をお聞きすると、何百億という維持管理費がかかるということで、放置するしかない状況もあろうかと思うが、解体という言葉も聞こえてくる。役目を終えた学校であっても、地域移行、また規模によっては解体するのもありかなと思う。ただ、新温泉町の場合、解体するにも町内に解体事業者がおらず処分地もないので、他自治体へお金が流れる苦しい状況であり、費用負担軽減等が何かはかれたら有難いと思う。廃校施設は各市町においても重荷になっていると思うが、状況が打開できるよう、皆さんと圏域の交流を深め情報共有しながら、麒麟のまちの発展に努めていきたいと考える。

《鳥取市：深澤市長》

本市においても、人口減少に伴い児童生徒数が減少しており、小中学校、保育園の統廃合を順次進めなければならない状況にある。本日の資料で紹介しているように、廃校を民間事業者がドローンスクールとして活用するとともに、地域の方が体育館やグラウンドを利用している共用事例があり、良い活用事例だと思う。その他にも、廃校で野菜を栽培し障がいのある方が通所できる施設としている事例や、演劇関連のNPO法人が小学校校舎・体育館を活用し活動している事例もある。

廃校の活用方法については、地元の方の意見を尊重しながら取り組んでいるところであるが、この問題については、未利用施設を含めた公共施設の更新問題の中で考えていく必要があると思う。以前、合併時につくった本市の公共施設に関する白書では当時約1,000施設があり、当時の人口一人当たり面積で計算すると全国平均より高く、施設数が多い結果となった。合併したことで類似の施設が多くあり、それを効率的・効果的に統廃合していくことが求められる中で、今あるものを無くすとなると、総論的には理解していただけるが、地元の皆さんそれぞれとの個別対応となると難しいこともある。例えば、一年間の維持管理費がどれだけ必要で、老朽化が進んで更新が必要となった場合いくら必要かなど、定量的に数字を表して計画的に統廃合を進めていこうとしているところである。必要なものは新規でもつくるわけだが、例えば類似施設等は統合、用途が異なるものを一つに複合化するとい

った視点を基本方針として、順次、公共施設の更新問題に取り組んでいる。今日、色々な活用事例をご紹介いただいたので、参考にさせていただきたい。

《鳥取市：吉野市議会副議長》

本市の公共施設について、先ほど、市長が白書のことを申し上げたが、維持管理に大体年間18億円ほどかかり財政的に厳しい状況であり、その対策をしていかなければならないということで、土地・面積、施設の生産性を上げないといけないと思っている。単に金銭的な話ではなく、価値や魅力度のアップであったり、利活用の度合いなど考えていかなければならない。学校については集約、統合、複合化、そして基礎がしっかりしているので長寿命化を図るなどしていかないといけないのではと思っている。また、地域の放課後児童クラブに活用したり、プールの授業で民営プールを利用するなどしているところである。未利用財産について、負の財産がなかなか減らないことが気になっており、例えば新しい可燃物処理施設が出来たが、古い施設が残っている。また最近では、文化施設について、4つの文化施設の老朽化に伴う再編検討もあり、統合、機能拡充と併せて、今ある施設の今後の利活用方法や跡地利用について、議会としてしっかり行政と一緒にあって車の両輪として取り組んでいきたい。

《智頭町：谷口町議会議長》

サミット参考資料の「2 未利用公共施設の課題について」について、ここではできない理由ばかり羅列されているが、これでは利活用の取組ができないと思う。なぜこのような理由になるのか、その原因を考えたらうえて、税金等の問題ではなく、どうしたらできるかを考えるべきだと思う。

《鳥取市：羽場副市長》

もっともなご意見だと思う。私が勝手に提案するのも恐縮であるが、困難を克服する意味でも、「未利用公共施設の活用方法と課題」を1つのテーマとして、課長会などで何か前向きに検討できないだろうか。

(一同、了承。)

では、引き続き圏域で連携し検討を進めさせていただきたい。

3 閉会あいさつ（池田新温泉町議会議長）